

# TOYOBO NOW





竣工式の模様

#### サウジアラビアの海水淡水化用逆浸透膜の生産設備を増設

中東・北アフリカ地域では経済発展と人口増加により、今後さらに水需要の増加が見込まれています。 当社の関係会社である Arabian Japanese Membrane Company, LLC(サウジアラビア)※注では、 海水淡水化事業の拡大をめざし、2014年5月、逆浸透膜エレメント「ホロセップ®」の生産設備を増設しました。

「ホロセップ®」は、微生物の増殖を防ぐための塩素殺菌に優れた耐久性を持つ三酢酸セルロース製中空糸膜が使用されており、逆浸透膜にとって過酷な条件とされる高温・高塩濃度海水の中東地域で高い評価を得ています。今後は、その強みを生かしてさらなる拡販を進めていきます。

(注)2010年にArabian Company for Water & Power Development(サウジアラビア)、当社、伊藤忠商事株式会社の3社により設立された合弁会社



「ホロセップ®」

#### 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼 申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く 事業環境は、米国では金融緩和政策が継続される中、景気の回復 基調が続きましたが、中国をはじめとするアジア新興国では、 景気の停滞感が続きました。一方、国内においては、政府の経済・ 金融政策を受けて緩やかに回復してきた景気も、消費増税後の 消費の反動減や夏場の天候不順などの影響を受けて、低調に 推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、「環境、ライフサイエンス、高機能で、社会に貢献する価値を、創りつづけるカテゴリー・リーダー」をめざし、特長のある製品を、国内外の市場へ展開し、成長を実現するための事業活動を進めております。当期間におい

ては、2017年度までの中期計画で掲げたアクションプランである、「海外展開の加速」、「新製品の拡大・新事業の創出」、「国内事業の競争力強化」、「資産効率の改善」、「グローバル経営機能の強化」の5つのプランに沿って、事業活動を進めました。

「海外展開の加速」としては、エアバッグ用基布事業において、 米国での事業拡大に向けて現地生産設備を増強し、グローバルな サプライチェーンを強化しました。また、エンジニアリングプラス チック事業においては、今後、自動車部品用樹脂市場の拡大が 期待される中米における販売を加速すべく、メキシコに新会社を 設立することを決定しました。

「新製品の拡大・新事業の創出」としては、液晶偏光子保護フィルムとして展開する「コスモシャイン®SRF」や、国内初の神経再生誘導チューブとして展開する「ナーブリッジ®」の拡販に注力しました。「コスモシャイン®SRF」については、テレビ向け用途で海外



代表取締役社長 梅原誠慈

# 業績ハイライト

# 売上高 (億円) 3,390 3,516 3,600 1,711 1,745 1,723 112 13 14





ユーザーを中心に採用が拡大し、前年同期比で大幅な増収となりました。また、「ナーブリッジ®」については、適用症例数や回復症例数が着実に増加する中、順調に売上を伸ばしました。

一方、「国内事業の競争力強化」としては、ポリエステル関連 事業の基盤強化に向けて、ペットボトル用樹脂の製造を中止し、 あわせてポリエステル原料事業から撤退することを決定しました。 また、未延伸ポリオレフィンフィルム事業においては、生産の効率 化や海外での事業拡大を図るべく、生産子会社と他社との合併を 決定しました。

なお、このように将来の成長拡大のための布石となるアクションを実行する中、新製品の市場展開や新設備の稼動に伴う生産体制の再編により一時的な移行費用が発生し、またポリエステル原料事業からの撤退にかかる費用も発生しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比

22億円(1.2%)減の1,723億円となり、営業利益は同22億円(19.8%)減の90億円、経常利益は同55億円(51.2%)減の53億円、四半期純利益は同26億円(49.7%)減の26億円となりました。

中間配当につきましては、財務状況や財務体質の強化なども勘案して見送らせていただくことといたしました。

2014年度通期業績につきましては、フィルム事業の業績回復、 新製品の拡販などを見込んでおりますが、一時的な費用が発生 したことなどを踏まえ、売上高3,600億円(前期比84億円増)、営業 利益220億円(同10億円増)、経常利益165億円(同19億円減)、 当期純利益85億円(同3億円増)を予想しています。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも温かいご支援を 賜りますようお願い申し上げます。

#### メキシコに新会社を設立

#### 自動車部品向け高機能樹脂事業を拡大

近年、メキシコでは、自動車メーカーの新工場が相次いで稼動し、生産能力を大幅に伸ばしています。このような環境のもと、当社は、

中米における自動車部品メーカーへの供給体制を構築するため、メキシコに新会社を設立することを決定しました。当面は、自動車部品向け高機能樹脂(エンジニアリングプラスチック)の販売拠点として拡販を進め、将来は、当社グループの中米拠点として事業展開する予定です。



ゴムとエンジニアリングプラスチックの両方の特性を持つポリエステルエラストマー「ペルプレン®」



事務所外観

#### 総資産・自己資本・自己資本比率

#### 総資産(億円) 自己資本(億円) **---** 自己資本比率(%) 31.8 31.2 30.8 4,563 4,517 4,474 1,423 1,438 1,380 '12 '13 '1⊿ (期末) (期末) (上半期末)

#### ● 有利子負債・D/Eレシオ



#### 事業別業績の概要



Films & Functional Polymers

# ●フィルム・機能樹脂事業

フィルム事業では、包装用フィルムは、8月後半以降、 天候不順により需要が低迷し、苦戦しました。工業用 フィルムは、新設備への移管に伴う費用増と、新製品の 本格拡大に伴う試験費の増加を吸収できず、減益とな りました。

機能樹脂事業では、エンジニアリングプラスチックは、 自動車関連が海外を中心に販売を拡大しました。工業 用接着剤「バイロン®」は、電子・情報関連が順調に推移 しました。

売上高 **741** 億円 ■ 1.1 % 減 (前年同期比)

営業利益

34 億円

Industrial Materials

# 🔵 産業マテリアル事業

エアバッグ用基布は、消費増税や原料高の影響を受けて苦戦しました。スーパー繊維では、「ダイニーマ®」は、ロープ・ネット用途が低調に推移しましたが、「ザイロン®」は、耐熱用途が堅調に推移しました。機能フィルターでは、VOC処理装置がアジア市場向けで回復しました。生活・産業資材では、機能性クッション材「ブレスエアー®」が販売先を拡大し、増収となりました。スパンボンドは、自動車、土木・建材用途で好調に推移しました。

売上高 営業利益 **322** 億円 **7.1**% 減 (衛年同期比) **26** 億円 Life Science

# ○ ライフサイエンス事業

バイオ事業では、バイオケミカルは、主力の診断薬酵素が国内外共に好調に推移しました。医薬品製造受託は、受託案件延期の影響を受けました。医療機器は、主力の「ナーブリッジ®」が順調に売上を伸ばしました。機能膜事業では、医用膜が苦戦しましたが、海水淡水化用逆浸透膜は、国内外の既存プラント向け交換膜が好調に推移しました。

売上高 **141** 億円 **7.9** % 増

営業利益

23億円



Textiles

# ○ 衣料繊維事業

スポーツ衣料製品は、市況の回復により堅調に 推移し、ユニフォーム用途も全般に堅調でした。一方、 テキスタイルは、中東向け特化生地が低調に推移し、 アクリル繊維は原料高の影響を受けるとともに、海外 向けの販売量が減少しました。

売上高 営業利益 **384** 億円 **3.4** %減 **9** 億円



Others

# ● 不動産事業/その他事業

当事業では、不動産、エンジニアリング、情報 処理サービス、物流サービス等のインフラ事業 は、それぞれ概ね計画どおりに推移しました。

売上高 営業利益 **136** 億円 **11.9** % 増 **12** 億円

> (営業利益 消去) 全社△14億円)

#### 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科目	当上半期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2014年3月31日現在)	科目	当上半期末 (2014年9月30日現在)	前期末 (2014年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	181,307	184,630	流 動 負 債	148,278	160,582
固 定 資 産	270,351	271,625	固定負債	156,779	150,558
有 形 固 定 資 産	209,522	209,619	負 債 合 計	305,057	311,141
無形固定資産	2,692	3,029	純資産の部		
投資その他の資産	,	, ,	株 主 資 本	110,433	110,015
投資での他の資産	58,137	58,977	その他の包括利益累計額	33,317	32,295
			少数株主持分	2,851	2,805
			純 資 産 合 計	146,601	145,115
資 産 合 計	451,658	456,256	負債・純資産合計	451,658	456,256

### TOPICS

#### フィルムの新用途展開

当社は、フィルムの新用途に向けた商品開発を推進しています。今回、2つの新用途のフィルムをご紹介します。

#### 書籍を包むフィルム

飲料・食品用の帯ラベルなどに使用される縦収縮PETフィルム「スペースクリーン®」を2014年4月より書籍ラッピング用として販売しています。ポリ塩化ビニル製フィルムに比べ、環境にやさしいことに加え、鮮明に多色印刷をすることができるという特長があり、今後の普及を見込んでいます。

鮮明な 多色印刷が 出来る!!





「スペースクリーン®」でラッピングした書籍

#### 紙のように折れるフィルム

「オリエステル®」は、折り曲げることができる新しいタイプのPETフィルムで、水に濡れても大丈夫な折り紙やブックカバー、手提げ袋などとしてこれまでのフィルムにはない用途展開を積極的に行っています。



水に 濡れても 大丈夫!



#### 窒素循環脱着方式の新VOC回収装置を販売開始

当社は、活性炭素繊維吸着材「Kフィルター®」を用いた窒素循環脱着方式の揮発性有機化合物(以下「VOC」)回収装置を開発し、2014年4月より販売を本格的に開始しました。 VOC回収装置は、工場などで発生する排気ガスを処理する装置で、排気ガス中の VOCを有機溶媒として回収します。



窒素循環脱着方式VOC回収装置

新しい装置では、窒素循環脱着方式の採用により、これまで実現が困難だった、さまざまな濃度の水溶性VOCから高品質な有機溶媒の回収、再利用が可能になりました。また、本装置は大型化が容易なため、大量の排気ガスの処理に対応することもできます。

今後は、水に溶けやすい溶媒を多く使用する フィルム加工業者への販売を進めていきます。

#### 四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	当上半期累計(自 2014年4月 1日) 至 2014年9月30日)
<b>売上高</b>	<b>172,321</b>
売上原価	135,267
<b>売上総利益</b>	<b>37,053</b>
販売費及び一般管理費	28,021
<b>営業利益</b>	<b>9,033</b>
営業外収益	1,708
営業外費用	5,480
<b>経常利益</b>	<b>5,260</b>
特別利益	324
特別損失	1,538
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>4,046</b>
法人税等	1,374
少数株主損益調整前四半期純利益	2,672
少数株主利益	75
四半期純利益	2,597

#### 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

W. L.W. #四冊=1/自 2014年4月 1日 \
当上半期累計(至 2014年4月 1日)
8,483
<b>△10,922</b>
<b>△ 2,886</b>
△104
△ 5,429
19,177
41
13,789

#### 会社の概要・株式の状況 (2014年9月30日現在)

社名東洋紡株式会社英文社名TOYOBO CO., LTD.

証券コード 3101

創 立 1882年(明治15年)5月3日 設 立 1914年(大正3年)6月26日

資 本 金 51,730,003,166円

東京 支社 東京都中央区京橋一丁目17番10号名 古屋 支社 名古屋市西区市場木町390番地 従業員数 連結10,398名 単体3,055名

#### ■ 役員

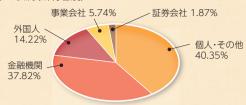
	~~~						
代表	取締役	会長		坂	五	龍	₹3 <u>=</u>
代表	取締役	社長	社長執行役員	楢	原	誠	慈
代表	長取紹	帝役	専務執行役員	高	橋		寛
取	締	役	常務執行役員	香	ф±	かず <b>和</b>	i E
取	締	役	常務執行役員	高	<b>林</b>		博
取	締	役	常務執行役員	松	并	敬	Ż
取	締	役	執行役員	矢	野	邦	男
取	締	役	執行役員	佐	野	茂	樹
取	締	役	*注1	荻	村	道	男
監	査	役	(常勤)	<b>元</b>	**************************************	久	雄
監	査	役	(常勤)	***	<i>f</i> ≿	盛	ڔ
監	查	役	*注2	今	なか		博
監	査	役	*注2	鵜	的	昭	生

(注1)取締役のうち荻村道男氏は社外取締役であります。

(注2)監査役のうち今中 博氏および鵜飼昭生氏は社外監査役であります。

■ 発行可能株式総数	2,000,000,000株
■ 発行済株式の総数	890,487,922株 (自己株式2,640,111株含む)
■ 株主数	83,095 名

#### ■ 株式分布の状況(所有者別)



#### ■ 大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	66,532	7.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	57,326	6.46
日本生命保険相互会社	17,508	1.97
東友会	16,477	1.86
全国共済農業協同組合連合会	14,100	1.59
東洋紡従業員持株会	13,469	1.52
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	13,393	1.51
株 式 会 社 三 菱 東 京 UFJ銀 行	13,214	1.49
株式会社三井住友銀行	13,034	1.47
明治安田生命保険相互会社	11,029	1.24

(注)持株比率は、自己株式(2,640,111株)を控除して計算しております。

#### ■ 関係会社

連 結 子 会 社	33	24	57
持分法適用会社	5	5	10
計	38	29	67

#### 株主メモ

事 業 年 度 4月1日から翌年3月31日まで

(期末の配当金受領株主確定日 3月31日)

定時株主総会 6月に開催いたします。

基 準 日 定時株主総会の基準日は3月31日といたします。 その他必要のあるときは、あらかじめ公告して定めます。

单元株式数 1,000株

**公告掲載ホームページアドレス** http://www.toyobo.co.jp 電子公告による公告ができない場合、日本経済新聞 に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

#### 各種手続のお申出先

住所変更、名義変更、配当金の受け取り方法のご指定、 単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

区分	お申出先
証券会社でお取引をされている株主さま	株主さまの口座のある証券会社
特別口座(証券会社に口座のない)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
の株主さま(下の区分を除く)	(左記、照会先をご参照ください。)
御幸ホールディングス株式会社との	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株式交換により当社株主となられた	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
特別口座の株主さま	電話 0120-232-711 (プリーダイヤル)

※証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別 口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。 なお、2009年9月1日付、当社と御幸ホールディングス株式会社との株式 交換により当社株主となられた場合は、御幸ホールディングス株式会社に おいて特別口座が開設された三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### 単元未満株式(1~999株)をお持ちの方へ

単元未満株式をお持ちの場合、当社に対して、次の請求を行うことにより、 売却または1,000株におまとめいただくことができます。ぜひ、以下の 制度をご利用ください。



単元未満株式の 買取を請求する。



単元株式(1,000株)に するため、不足する株数の 株式の売り渡しを請求する。

#### (例)当社株式650株をお持ちの場合



650株を当社に市場価格で 売却し、代金を受領する。

350株を当社から市場価格で 購入し、単元株式 (1,000株) とする。

お手続方法につきましては、上記のお申出先へお問合せください。





